

ふれあいひろば

口和自治振興区

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4
【電話】0824-87-2213 【Fax】0824-87-2135
【メール】kuchiwajichi@gmail.com 【設立】2010



【口和クイズ】

小正月の行事として全国に広まった「とんど」の起源とされる行事は、もともとどこで行われていたのでしょうか



公式 HP



フェイスブック



インスタグラム



YouTube

とんど

湯木 ゆく年くる年

トラハイ

そば打ち講習会（金田）

生花教室（金田）

友愛訪問（竹地谷）

世代間交流事業（永田）

出張土曜本の会

合同子ども会

クリスマス会（永田）

新春交流会（永田）

地域マネージャー通信

1月の主な行事

おしらせ

- ・日本語スピーチコンテスト
- ・口和図書館の臨時休館（蔵書点検）
- ・ソフトバレーボール大会
- ・確定申告：口和地域

2月の行事カレンダー

口和クイズの答え

みなさまの投稿をおまちしています／

口和写真館



『除夜の鐘』

口和データ

人口 1,625人（▲63）

世帯数 732世帯（▲11）

令和7年12月末日現在（増減：前年度比）

明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は振興区の活動に温かいご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は、大規模火災や熊の出没による人的被害もあり大きな社会問題にもなりました。

町内では、第十八回口和モーソー祭が開催され、多くの皆様にご来場いただき盛会裏に終了することができました。振興区では新たに元気づくり、安心づくり、女性・老人・青年部の5つの部制に変更し、これまで順調な活動を展開しています。

そうした中で、昨年十月に振興区の事務局次長や定住促進の地域マネージャーとして長きにわたり貢献頂いた積山道弘さんの突然のご逝去に際しました。これまでのご功績に衷心より感謝いたします。

さて、今年は振興区が平成二十二年に発足して十五年が経ちました。振興計画は第四期を迎えることとなり、現在、新たな計画作成に取りかかっています。今年の総会には新たな振興計画をお諮りする予定としています。

また、振興区発足以来、毎月発行しております広報紙「ふれあいひろば」が本号で二百号を迎えることができました。皆様からお寄せいただいた情報や取材に対してのご協力に感謝申し上げます。より一層充実した内容に務めて参ります。

今後振興区では『安心、元気な口和』を目指して、福祉、防災、定住、情報発信、地域振興、生涯学習等の様々な事業を地域マネージャーと展開していくため、庄原市をはじめ他団体と連携を取りながら地域の皆さんと一緒に歩んでいきたいと願っています。

どうぞ今年も引き続きよろしくお願い致します。

口和自治振興区長 清水 孝清



心新たに新年を祝う 今年も口和は元気です♪

地域を繋ぎ未来を育む 新年最初の伝統行事「とんど」

無病息災を願い新春を祝う「とんど」が行われ、会場には子どもから高齢者まで幅広い世代が集まり、久しぶりに帰省した人との再会を喜ぶ姿も見られました。餅を焼いたり、ぜんざい・手打ちそばをふるまわれた地域もあり、温かい食べ物を囲んで会話が弾みました。地域で大切に受け継がれてきた行事ならではの、和やかな雰囲気にも包まれた一日となりました。

湯木



永田：出雲石



永田：元恒



永田：宮下・大久保・ハイツ



金田



常定



宮内



向泉



大月



本谷



湯木八幡神社「ゆく年くる年」

22年目を迎えた今年、竹灯笼やかがり火が境内を包み込み、幽玄で幻想的な空間をつくり出し打ち上げ花火が夜空を彩りました。(1/1)



小正月の来訪神行事「トラヘイ」



今年の「トラヘイ」には、幼児から大学生まで約60名が参加し、わら馬づくりに挑戦。子どもたちには、来訪神行事の意味や、訪問先・運営など様々な場面で地域の方に支えられていることを伝えました。(1/17)

「つながる」「広がる」「支え合う」口和の暮らし

そば打ち講習会



金田

“口和そばの会”さんに指導していただき「とんど」で手打ちそばをふるまいました。

生花教室



金田

女性部が先生にみていただきながら正月用の生花を作りました。

友愛訪問



竹地谷

生活に必要なものをお届けして色々とお話しました。

世代間交流事業



永田

口南郵便局横の永田いきいき広場で花の苗を植えました。

“ワクワク♪”“ドキドキ♪”を伝えたい 地域の取り組み

出張 土曜本の会

口和本の会



ごゆっくり食堂で
クリスマス絵本を披露

合同子ども会

湯木 金田 大月



一緒にお出かけして
ゲームに挑戦

クリスマス会

永田



ゲーム大会やサンタさんか
らのプレゼント

新春交流会

永田



エプロンシアター
バルーンアート ぜんざい

地域マネージャー通信欄

＼こんな活動やってます／

川上 良美
(福祉)

●脳活の進め

脳の老化には個人差がありますが、脳の成長には年齢の制限はありません。最近の研究で、脳に刺激を与え続ければ脳細胞は育ち続けることが明らかになりました。脳に刺激を与えるためには、「毎日を楽しむこと」が大切です。好きなことに取り組み、人との関わりやワクワクすることを増やしていき、脳が「幸せ」と感じる「脳活」を毎日の生活の中に取り入れていきましょう。

福田 豊明
(防災)

●口和防災だより 84号 「パンデミックに備える I」

「パンデミック」という言葉を聞くと、多くの人が新型コロナウイルス感染症を思い浮かべることでしょう。私たちは今まさに、その大きな脅威を経験したばかりですが、歴史を振り返れば、人類はこれまでも幾度となく様々な感染症に直面し、それを乗り越えてきました。パンデミックは、いつ起こるかわからない「災害」の一つです。感染が急速に広がれば、医療体制がひっ迫し、私たちの社会経済活動や日常生活に大きな影響を及ぼす可能性があります。そこで本号より複数回にわたり、パンデミックに関する基本的な知識から、日頃からできる備え、そしてもしもの時の行動についてお伝えしていきます。第1回となる今回は、「パンデミックとは何か」という定義、過去の事例、そして原因となる病原体の種類について解説します。自分自身を守るための備えはもちろん、地域や社会全体で協力し、支え合えるまちを作っていくことが非常に重要です。この機会に、正しい知識を身につけることから始めてみましょう。

松本 晋太
(情報発信)

●「とんど・トラハイが教えてくれること」

相変わらず「時」が過ぎるのはあっという間で、お正月気分もちょっと前のように思えますが、あけましておめでとうございます。

すでに「とんど」や「トラハイ」も終わりましたが、このような行事があるからこそ顔を合わせる機会になっていることを、改めて実感します。こういう行事ができるのも地域のチカラ。今年もそんな地域の元気づくりのお手伝いができるよう頑張ります。今年もよろしくお願い致します。

山田 耕司
(地域振興)

●「春を待ちながら、畑の支度」

新年を迎え、そろそろ今年の「普段着の口和」の準備をする時期になってきましたが、さて、何をすればいいのか。まずは、昨年植えた玉ねぎの追肥をすればよいか。経験のない小生には悩み多き年になりそうです。

【1月の主な行事】

14日	ぬくもり会議	20日	ふれあいひろば200号	25日	写経体験教室
14日	三者連絡会議	20日	防災だより84号	28日	配食サービス事業
15日	食堂・マージャン	20日	口和が好き23号	30日	役員会
18日	休日開放図書館	21日	体育祭検討委員会準備会	口和地域未来塾 24日 26日	

ワクワク♪ドキドキ♪が待っている

おしらせ

お気軽にご参加ください！

【日本語学習者スピーチコンテスト&交流会】

日 時 2月8日（日）10:30～

会 場 口和自治振興センター（向泉）

入場料 無料

連絡先 しょうばろ国際交流協会 72-8285

神楽 合気道の演舞と体験 民族衣装ショー 福まき バザー

口和で多文化体験してみませんか？



【口和図書館の休館】

蔵書点検のため、休館します

期 間 2月17日（火）～19日（木）

連絡先 口和図書館 87-2213



【ソフトバレーボール大会】

日 時 2月22日（日）8:30～

会 場 口和中学校体育館（向泉）

連絡先 スポーツ協会

口和自治振興区 87-2213



【確定申告:口和地域】

期 間 2/16（月）～3/16日（月）

※休み：土日祝日

時 間 9:00～11:30 13:00～16:00

会 場 口和自治振興センター

連絡先 庄原市役所口和支所 87-2112

2月の行事カレンダー

[] 内は、口和地域のゴミ収集日です。

★印…詳細は「おしらせコーナー」をご覧ください。

日程は諸事情により変更する場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
1	2 女性部会 19:00 [プラスチック類]	3 [燃えるごみ]	4 [その他紙類]	5 行政文書 地域未来塾 [容器包装プラ紙パック]	6 [燃えるごみ]	7
8 スピーチコンテスト会★ [施設開放日]	9 [燃えないごみ]	10 [燃えるごみ]	11 [新聞]	12 地域未来塾 [容器包装プラ紙パック]	13 [燃えるごみ]	14
15 休日開放図書館 9:00～12:00	16 [ビン・カン 有害]	17 図書館休館★ [燃えるごみ]	18 図書館休館★ [その他紙類]	19 図書館休館★ 食堂 11:00 マージャン 13:00 地域未来塾 [容器包装プラ紙パック]	20 行政文書 [燃えるごみ]	21
22 ソフトバレーボール大会★ [施設開放日]	23 [ペットボトル 古着]	24 [燃えるごみ]	25 配食サービス [ダンボール]	26 地域未来塾 [容器包装プラ紙パック]	27 [燃えるごみ]	28 土曜本の会 9:00～11:00

【口和クイズ】答え

クイズ 小正月の行事として全国に広まった「とんど」の起源とされる行事は、もともとどこで行われていたのでしょうか

今では地域の神社や広場で行われる小正月の行事として親しまれている「とんど」。もともとは、平安時代の宮中で行われていた「左義長（さぎちょう）」という行事が元になっています。宮中では、お正月の飾りや書き初めを集めて火で焚き、1年を元気に過ごせるように願っていました。平安時代の宮中行事は、「厄よけ」「季節の節目を祝う」といった意味を持つものが多く、民間の生活とも相性がよかったため、自然に広がっていったそうです。

答 え 宮中
(きゅうちゅう)



平安時代の宮中行事で、民間に広がった主なもの

宮中行事	うらぼんえ 盂蘭盆会	ついな 追儺	きこうでん 乞巧奠
民間行事	お盆	節分	七夕